

社会福祉法人 宝塚いくせい会 令和元年度 事業報告書

I 総 括

社会福祉法人 宝塚いくせい会は、障害者総合支援法に基づき、知的障害者の障害福祉サービス事業者として多機能型就労継続支援A型・B型事業、単独型短期入所事業及び日中一時支援事業（宝塚市地域生活支援事業）を実施するとともに、就労支援事業として福祉用具の貸与等の介護保険事業等を実施しました。

それぞれの事業の運営にあたっては、利用者を尊重し、常に利用者寄り添ったサービスの提供に心掛けて実施しています。

このようななかで、令和2年の年明けから世界中に蔓延しはじめた新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、あらゆる事業の運営が制約されるようになりました。本法人の運営においても、国、県の方針に基づき適切に対応することとしていますが、障害者サービスの提供にも大きく影響を及ぼすものと考えています。今後とも動向を注視し、安全で適切な運営に努めます。

II 経営成績

事業活動計算書（法人全体）

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減
事業活動収益	246,920,964 円	242,208,984 円	4,711,980 円
サービス活動収益	242,425,886 円	239,335,428 円	3,090,458 円
サービス活動外収益	3,044,079 円	2,873,556 円	170,523 円
特別利益	1,450,999 円	0 円	1,450,999 円
事業活動費用	249,073,010 円	242,918,101 円	6,154,909 円
サービス活動費用	245,685,193 円	238,606,827 円	7,078,366 円
サービス活動外費用	1,947,817 円	4,311,274 円	△ 2,363,457 円
特別損失	1,440,000 円	0 円	1,440,000 円
差 引	△ 2,152,046 円	△ 709,117 円	△ 1,442,929 円

令和元年度の法人の経営成績は、215万円の赤字（前年度は70万円の赤字）となりました。

まず、事業活動収益については2億4692万円で、自立支援給付費収益が伸び悩んだものの就労事業収益が増加し、前年度に比べ471万円の増加となっています。一方、事業活動費用のうちサービス活動費用については、年度末に定年退職が見込まれていた職員の補充を先行して行ったことから人件費が1,124万円増加したものの、減価償却費が557万円減少したこともあり、サービス活動費用では707万円の増加となり、事業活動費用は2億4907万円（対前年度615万円の増）となっています。

Ⅲ 障害福祉サービス事業等の実施

1 多機能型就労継続支援A型・B型事業（宝塚育成事業所）

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、通所による就労の場を提供するとともに、個別支援計画に基づき、就労や地域生活に必要な知識や能力の向上のための支援を適切に行いました。

(1) 運営状況及び訓練給付費の状況

区分	年度	定員	契約人数	年間延べ開設日数	訓練給付費
A型	令和元年度	12人	11人	239日	18,137,476円
	平成30年度	12人	12人	239日	19,802,641円
	増減	—	△1人	—	△1,665,165円
B型	令和元年度	15人	16人	239日	25,693,666円
	平成30年度	15人	15人	239日	24,351,335円
	増減	—	1人	—	1,342,331円

※ 定員、契約人数は、令和2(平成31)年3月31日現在

(2) 就労支援事業の状況

① 生産活動業務

区分	業務の内容
A型	(介護保険事業) ・介護保険指定事業者として介護福祉用具の貸与、販売業務 ※令和元年度末契約件数 509件(平成30年度末 478件)
B型	(介護保険適用外事業) ・介護保険適用外事業として福祉用具の貸与、販売、消毒業務 ※令和元年度末契約件数 491件(平成30年度末 479件) (受託事業) ・宝塚市下の池公園維持管理業務 ・宝塚市立病院植栽管理業務 ・宝塚市医師会、書類配送業務 ・各所、除草清掃業務 ・各種軽作業請負 (招福縁起物、宝塚牛乳関係、マグネット取付、シール貼り等) ・車いす等福祉用具の消毒業務(内部受注を含む) ・その他自治会等のイベント用物品の運搬業務等

② 就労支援事業収支の状況

区 分		令和元年度	平成 30 年度	増 減
A 型	収 益	82,060,072 円	77,072,372 円	4,987,700 円
	費 用	81,537,033 円	76,898,956 円	4,638,077 円
	差 引	523,039 円	173,416 円	349,623 円
B 型	収 益	20,935,888 円	22,076,289 円	△ 1,140,401 円
	費 用	19,342,755 円	22,035,472 円	△ 2,692,717 円
	差 引	1,593,133 円	40,817 円	1,552,316 円
合 計	収 益	102,995,960 円	99,148,661 円	3,847,299 円
	費 用	100,879,788 円	98,934,428 円	1,945,360 円
	差 引	2,116,172 円	214,233 円	1,901,939 円

令和元年度の就労支援事業 A 型の収支は、523,039 円の黒字となり、就労支援事業 B 型の収支についても 1,593,133 円の黒字となりました。なお、この黒字相当額は、設備等整備積立金に積み立てました。

③ 賃金及び工賃の状況

	年 度	人数	賃 金・工 賃 (賞与を含む)	平均月額賃金・工賃 (賞与を除く)	備 考
A 型	令和元年度	11 人	12,032,130 円	88,652 円	最賃 899 円 適用 5 人
	平成 30 年度	12 人	12,468,325 円	84,086 円	最賃 871 円 適用 5 人
	増 減	△ 1 人	△ 436,195 円	4,566 円	
B 型	令和元年度	16 人	6,914,210 円	34,465 円	
	平成 30 年度	15 人	5,882,170 円	30,930 円	
	増 減	1 人	1,032,040 円	3,535 円	

令和元年度の A 型の平均月額賃金は 88,652 円で、前年度に比べ 4,566 円向上しました。また、最低賃金適用者は前年度と同様の 5 名となっています。一方、B 型の平均月額工賃は 34,465 円で、前年度に比べ 3,535 円向上しました。

④ 固定資産取得状況

- ・介護ベッド購入（備品取得） 75 台 4,900,000 円
 ※ 法人所有の旧タイプの事業用介護ベッドを、平成 30 年度より年次的に更新する。
- ・宝塚育成事業所 照明設備 LED 化事業 397,100 円

(4) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1 人(他事業と兼務)	—	1 人
サービス管理者(兼生活支援員)	1 人	—	1 人
生活支援員	4 人(他事業と兼務 1 人)	1 人	5 人
職業指導員	3 人	1 人	4 人
事務員	1 人	1 人	2 人
合 計	10 人	3 人	13 人

2 単独型短期入所事業（安倉ホーム・ENJOYハウス・来夢）

近年の傾向として利用者の重度化が顕著化している傾向もあり、令和元年度の短期入所事業の運営にあたっては、全体的に利用者数が伸び悩んでいる状況にあります。

また、今後の短期入所支援を見据え、新たに女性支援員を雇用し、支援活動のなかで職務の研鑽に取り組んでいます。

令和元年度は、新たに2人(男性1人、女性1人)と利用契約を締結し、サービスの提供を始めました。

(1) 短期入所運営状況

【安倉ホーム(男性対応)】

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	—	
年間開設日	234 日	238 日	△ 4 日	
年間利用者(実数)	17 人	20 人	△ 3 人	
年間延べ利用者	709 人	771 人	△ 62 人	
平均利用者数/日	3.0 人/日	3.2 人/日	△ 0.2 人/日	

【安倉ホーム(女性対応)】

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	—	
年間開設日	229 日	199 日	△ 30 日	
年間利用者(実数)	13 人	15 人	△ 2 人	
年間延べ利用者	502 人	431 人	71 人	
平均利用者数/日	2.2 人/日	2.2 人/日	—	

【ENJOYハウス(男性対応)】

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	—	
年間開設日	231 日	233 日	△ 2 日	
年間利用者(実数)	21 人	25 人	△ 4 人	
年間延べ利用者	816 人	819 人	△ 3 人	
平均利用者数/日	3.5 人/日	3.5 人/日	—	

【ENJOYハウス(女性対応)】

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	備 考
定 員	3 人	3 人	—	
年間開設日	191 日	153 日	38 日	
年間利用者(実数)	19 人	19 人	—	
年間延べ利用者	445 人	333 人	112 人	
平均利用者数/日	2.3 人/日	2.2 人/日	△ 0.2 人/日	

【来夢(男性対応)】

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	—	
年間開設日	233 日	237 日	△ 4 日	
年間利用者(実数)	11 人	11 人	—	
年間延べ利用者	671 人	738 人	△ 67 人	
平均利用者数/日	2.9 人/日	3.1 人/日	△ 0.2 人/日	

※ 定員とは別に緊急時受入枠 1 人

(2) 安倉ホーム スプリンクラー未設置に係る対応について

短期入所施設のスプリンクラー設置基準は、消防法の運用により、障害支援区分 4 以上の利用者の利用割合が 80 %を超える場合を設置要件としていることから、施設の利用割合が 80 %未満となるように運用しています。

令和元年度に、宝塚西消防署の指導により特定小規模施設用自動火災報知器設備新設工事(事業費 396,000 円)を実施しました。

なお、令和元年度の利用割合は、次のとおりです。

	開設日延べ定員	障害支援区分 4 以上		障害支援区分 3 以下	
		延べ利用者数	比 率	延べ利用者数	比 率
安倉ホーム (男子)	936 人	665 人	71.0 %	44 人	4.7 %
安倉ホーム (女子)	916 人	483 人	52.7 %	19 人	2.1 %
計	1,852 人	1,148 人	62.0 %	63 人	3.4 %

(3) 介護給付費の状況

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増 減	備 考
安倉ホーム	21,746,243 円	21,767,753 円	△ 21,510 円	
ENJOY ハウス	23,477,419 円	22,343,557 円	1,133,862 円	
来 夢	10,452,343 円	11,329,197 円	△ 876,854 円	
合 計	55,676,005 円	55,440,507 円	23,498 円	

(4) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	3 人(生活支援員を兼務)	—	3 人
生活支援員	4 人(他事業と兼務 1 人)	1 人	5 人
調理員(安倉ホーム、来夢)	—	4 人	4 人
添乗員(ENJOY ハウス)	—	3 人	3 人
合 計	7 人	8 人	15 人

3 日中一時支援事業（つばさ&ミッキー）

日中一時支援事業は、宝塚市の地域生活支援事業の一時預かり事業として学校の放課後や施設利用後の日中における活動の場を提供し、また、学校の長期休業期間中は「ミッキー」と称して、日中における活動の場を提供しています。

令和元年度は、新たに 5 名の男性学齢児童と利用契約を締結し、サービスの提供を始めました。

(1) つばさ・ミッキー 運営状況

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増 減	備 考
定員	15 人	15 人	0 人	
延べ開設日	236 日	237 日	△ 1 日	
年間利用者(実数)	76 人	76 人	0 人	
学齢児童	43 人	42 人	1 人	
成人(18 歳以上)	37 人	38 人	△ 1 人	
年間延べ利用者	708 人	695 人	13 人	
学齢児童	328 人	304 人	24 人	
成人(18 歳以上)	380 人	391 人	△ 11 人	
年間延べ利用時間	16,222 時間	16,637 時間	△ 415 時間	
学齢児童	8,165 時間	7,594 時間	571 時間	
成人(18 歳以上)	8,057 時間	9,043 時間	△ 986 時間	
平均利用者数/日	14.4 人	14.5 人	△ 0.1 人	

※ ここでいう成人とは 18 歳以上をいい、通常、自己負担金が 0 円となる利用者です。

※ 令和元年度中の利用者は、男性 64 人、女性 12 人の 76 人です。

(2) 受託事業収益の状況

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増 減	備 考
宝塚市受託事業収益	26,004,914 円	26,687,127 円	△ 682,213 円	

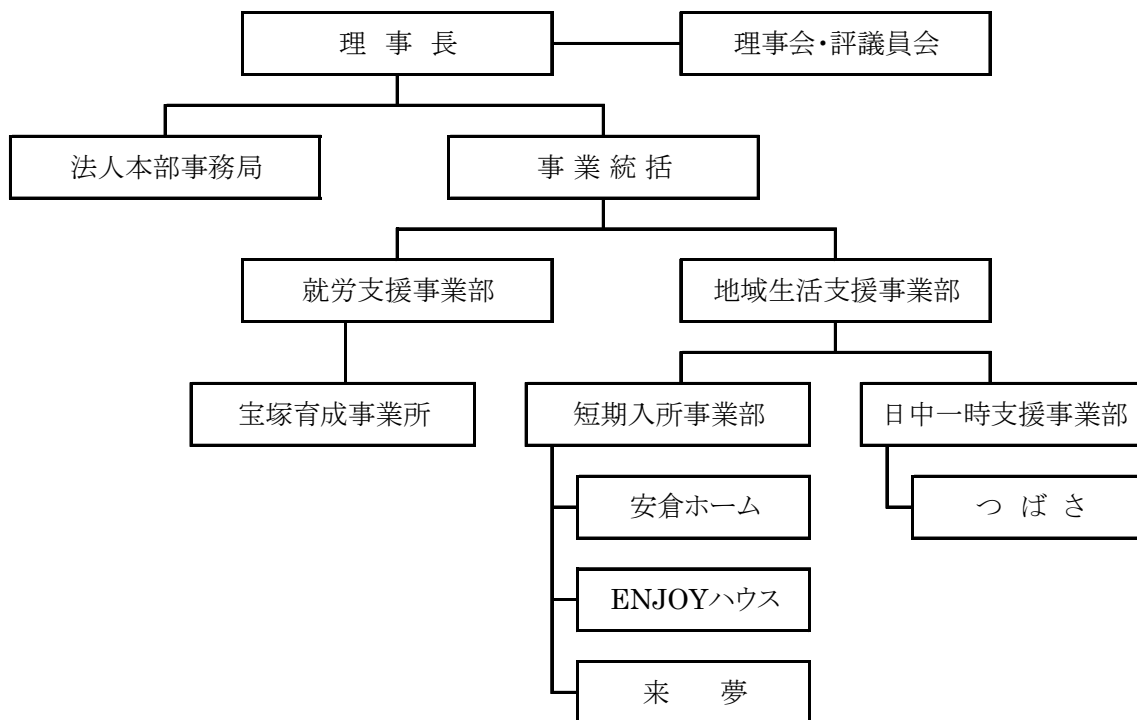
(2) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1 人(他事業と兼務)	—	1 人
生活支援員	3 人	16 人	19 人
合 計	4 人	16 人	20 人

※ 臨時職員の 1 カ月あたりの従事者は、10 人程度となっている。

IV 法人の状況及び運営等

1 法人の組織



2 職員の状況

区 分	平成31年4月1日	雇 用	退 職	令和2年3月31日
正規職員	15人	2人	2人	15人
男性	8人	—	—	8人
女性	7人	2人	2人	7人
嘱託職員	6人	—	1人	5人
男性	4人	—	—	4人
女性	2人	—	1人	1人
臨時職員	11人	2人	3人	10人
男性	4人	—	2人	2人
女性	7人	2人	1人	8人
合 計	32人	4人	6人	30人
男性	16人	—	2人	14人
女性	16人	4人	4人	16人

※ 臨時職員は、雇用契約を締結している職員に限る。

3 役員等の選任状況について

① 役員（理事及び監事）

選任日	令和元年 6 月 25 日
任 期	(自) 令和元年 6 月 25 日 (至) 令和 3 年 6 月開催の定時評議員会終結時まで
(敬称略、五十音別)	
理 事	浅山 みゆき
理 事	植戸 貴子
理 事	大野 セツ子
理 事	小原 正義
理 事	小原 冷子
理 事	浦野 のり子
監 事	佐藤 寿一
監 事	染川 智香

② 評議員

選任日	平成 29 年 4 月 1 日
任 期	(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 令和 2 年 6 月開催の定時評議員会終結時まで
(敬称略、五十音別)	
評議員	今西 則行
評議員	鵜澤 靖
評議員	久保 明子
評議員	中田 雅子
評議員	紅山 修
評議員	村瀬 一郎
評議員	山田 精一

4 理事会及び評議員会の開催状況

会議の名称	第1回 理事会
開催日時	令和元年5月30日(木) 17時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 5名(欠席理事 1名)、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告及び決算に係る計算書類等の承認について ・次期役員候補者の選出について ・評議員会の招集について
会議の名称	評議員会(定時評議員会)
開催日時	令和元年6月25日(火) 10時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席評議員 4名(欠席評議員 3名)、出席理事 2名、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告及び決算の承認について ・次期役員の選任について
会議の名称	第2回 理事会
開催日時	令和元年6月25日(火) 11時30分～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 4名(欠席理事 2名)、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定について
会議の名称	第3回 理事会
開催日時	令和元年8月30日(金) 10時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 6名、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第1四半期の業務執行状況について
会議の名称	第4回 理事会
開催日時	令和元年11月26日(火) 10時～
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 5名(欠席理事 1名)、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度資金収支予算専決処分について ・令和元年度第2四半期の業務執行状況について ・短期入所事業について
会議の名称	第5回 理事会(書面決議による)
送 達 日	令和2年3月23日(火)
開催方法	書面決議
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第3四半期の業務執行状況について ・令和2年度事業計画及び資金収支予算(当初予算)について

5 内部委員会等の開催状況

委員会名	主 な 内 容	開催頻度
運営委員会	理事会、評議員会の上程議案や法人及び施設の運営に係る重要事項の検討 (人事配置、事業の展開、施設改修、新規施設設置、職員研修計画、中長期事業計画等)	月 1 回
業務評価・改善委員会	就労継続支援事業部門、短期入所事業部門、日中一時支援事業部門の取組状況や業務の改善策、ヒヤリハット事例の事象等について情報の共有と意見交換の実施	月 1 回
短期入所連絡会	ENJOY ハウス、安倉ホーム、来夢の課題の抽出やサービスの提供のあり方等の検討	2 カ月に 1 回

6 職員研修及びリスク管理

(1) 職員研修

利用者支援に係る専門的研修を通じて職員一人一人の支援力の充実に努め、職員が均等に研修を受けることのできる環境づくりの必要性を認識していますが、変則勤務の職場もあり、研修の機会均等を設けることが困難な状況にあります。

令和元年度は、次の研修事業を実施しました。

【主な研修事業】

平成 31 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修（短期入所職員）4月～5月 福祉用具バリアフリー展 2019（宝塚育成事業所職員） 高度管理医療機器等販売に係る継続研修（宝塚育成事業所職員）
9 月	<ul style="list-style-type: none"> 職員全体研修会「本当の気持ちと出会うとき」 国際福祉機器展（宝塚育成事業所職員）
11 月	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県知的障害者施設協会人材確保委員会研修会（宝塚育成事業所職員）
12 月	<ul style="list-style-type: none"> 就労支援フォーラム NIPPON2019（宝塚育成事業所職員）
令和 2 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> 施設保育士養成協議会研究懇談会（宝塚育成事業所職員） サービス管理責任者更新研修（宝塚育成事業所職員） 兵庫県介護と障害のつながる研修（宝塚育成事業所職員）

(2) リスク管理

日々の業務のなかで起こりうる様々な「ひやり・ハット」については、職員間での情報の共有し、問題の正しい捉え方が重要と考えています。職員は利用者への安全配慮義務を徹底し、同時に職員間のコミュニケーションを深め、情報の共有化に努めています。そして、小さなヒヤリから大きなヒヤリを引き起こさないためにも、利用者支援についてはミーティング等により支援の内容を振り返り、そのなかで課題を見つけ出し、次の支援につなげることでリスクの軽減を図っています。

7 その他の取組み

- (1) 善意銀行（宝塚市社会福祉協議会）より、宝塚育成事業所、ENJOYハウス、安倉ホーム、来夢に対してそれぞれ 30,000 円の配分金をいただき、それぞれの施設の利用者の福利厚生経費に充当させていただきました。
- (2) 宝塚市共同募金委員会（宝塚市社会福祉協議会）より「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」募金の施設・団体配分金として 100,000 円の配分を受け、一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会との共催で地域交流事業の「いくせい会まつり」を開催しました。
- ・開催日時：令和 2 年 2 月 15 日（土）11:00～14:00
 - ・開催場所：宝塚市総合福祉センター
 - ・参加者数：約 350 名
- (3) 公益財団法人 神戸やまぶき財団の助成事業により、日中一時支援事業所「つばさ」の送迎用車両を取得しました。
- ・取得車両：トヨタ シエンタ（7 人乗り）
 - ・事業費：1,854,288 円
 - ・助成金：1,440,000 円

(4) 防災及び福利厚生の取組み

時 期	防 災 の 取 組 み	福 利 厚 生 の 取 組 み
平成 31 年 4 月	・ ENJOY ハウス 消防設備点検	・ 宝塚育成事業所、ENJOY ハウス、安倉ホーム 害虫駆除
6 月	・ 宝塚育成事業所 消防避難訓練	・ 職員及び宝塚育成事業所利用者健康診断
7 月	・ 宝塚育成事業所 消防設備点検	・ 宝塚育成事業所利用者 ハッピーデイ
8 月		・ 宝塚育成事業所、ENJOY ハウス、安倉ホーム 害虫駆除
9 月		・ 宝塚育成事業所利用者 親睦旅行（城崎方面）
10 月	・ 安倉ホーム 消防設備点検 ・ 宝塚育成事業所 消防避難訓練	・ 宝塚育成事業所利用者 ハッピーデイ ・ 健康相談（宝塚市医師会館）
11 月		・ 職員及び宝塚育成事業所利用者 インフルエンザ予防接種 ・ 宝塚市障害者運動会（キャピリンピック）
12 月	・ 宝塚育成事業所 消防設備点検 ・ 来夢、つばさ 消防設備点検	・ 宝塚育成事業所利用者 忘年会
令和 2 年 1 月	・ ENJOY ハウス 消防設備点検	

時 期	防 災 の 取 組 み	福 利 厚 生 の 取 組 み
令和 2 年 2 月		<ul style="list-style-type: none"> ・いくせい会まつり ・宝塚育成事業所利用者 ハッピーデイ
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・宝塚育成事業所 消防避難訓練 ・安倉ホーム 小規模施設用自動 火災報知器設置工事 ・安倉ホーム 消防設備点検 	